

売上高等の実績 例 令和2年3月に申し込む場合
住所
法人名

氏名（代表者名）

見込

印

実績

下記記載内容に相違ありません。

1. 最近3か月間の売上高等について

災害等の発生における 最近1か月間の売上高等	ア の翌月の売上高等	ア の翌々月の売上高等
【令和2年2月分】…ア	【令和2年3月分】…イ	【令和2年4月分】…ウ
円	円	円
※認定書内Aに転記	見込み	見込み

2. 最近3か月の前年同期の売上高等について

ア の期間に対応する 前年1か月間の売上高等	イ の期間に対応する 前年1か月間の売上高等	ウ の期間に対応する 前年1か月間の売上高等
【平成31年2月分】…エ	【平成31年3月分】…オ	【平成31年4月分】…カ
円	円	円
※認定書内Bに転記		

3. ア の期間後2か月間の見込み売上高等

イ + ウ = _____ 円 … 認定書内Cに転記

4. 3の期間に対応する前年の2か月間の売上高等

オ + カ = _____ 円 … 認定書内Dに転記

5. 最近1か月間の減少率について

$(エ - ア) \div エ \times 100 = \underline{\quad} \% \dots$ 認定書内「(イ)最近1か月間の売上高等」の減少率に転記

6. 最近3か月間の減少率

ア + イ + ウ = _____ 円 … キ

エ + オ + カ = _____ 円 … ク

$(ク - キ) \div ク \times 100 = \underline{\quad} \% \dots$ 認定書内「(ロ)最近3か月間の売上高等の実績見込み」の減少率に転記

上記記載内容に相違ないことを確認しました。

令和 年 月 日

住所

会計士・税理士事務所名称

会計士・税理士名

印

※金額は円単位です。

※減少率の計算の際の端数は原則として切り捨ててください。

※会計士・税理士の確認印が無い場合は、記載された内容を確認できる資料を提出してください。(試算表、売上台帳等)

※売上等明細表については、同様の内容が記載されていれば本書式でなくてもかまいません。